



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-1-2

TEL. 03-5244-5138 FAX. 03-3294-6106

●本庁担当: 上越市 総合政策部 多文化共生課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL. 025-520-5674

ホームページ▶

ふるさと上越 🔍



「越後よしかわやっただ祭り」 撮影：松本 栄規さん（稲穂竿灯 / 地元小中学校の児童生徒さんが、五穀豊穡を願って制作）

「たより」 No.291 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告 ……………1	会員ひろば……………5
「J」ネットの活動とお知らせ……………2	「不思議板倉郷」……………西口 義久
同窓会・郷友会コーナー……………3	古民家食事処「樗苑」(南魚沼市)……………小坂 庸雄
とれたて上越……………3	瀧川鯉橋師匠 高座予定……………7
上越の行事・展示会・話題……………3	上越産品販売のお知らせ……………7
いにしえ上越……………4	俳句ひろば……………8
上京した古径少年を支えた人々 (その2)	上越市からのお知らせ……………8
小林古径記念美術館 館長 宮崎 俊英	Jネットからのお知らせとお願い……………8
岩殿山の魅力について (その2)	
岩殿山明静院 住職 長谷川 英明	

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は644名(令和5年9月30日現在)です。 ※令和5年度目標610名達成。

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和5年8月) 57点 142,798円 ※前年同月 97点 146,432円

◆ 9月14日湯島にてサロン開催



9月14日(木)午後5時30分から、東京新潟県人会館の3階においてサロンが開催されました。今年に入ってリアルサロンが開催されるのは3回目となります。

今回は、下は29歳、上は90歳という非常に幅広い年代の方が参加される会となり、吉池のおつまみや浦川原の日本酒などに舌鼓を打ちつつ、上越市の思い出話などに花を咲かせました。

今回のサロンでは、小竹製菓の「小竹の笹だんごパン」という、新潟県産コシヒカリ米粉を使用した笹団子がまるごと入ったパンがおつまみの一つとして並びました。調べてみると、この小竹の笹だん

ごパンは2015年に誕生した商品で、完成までに7年もの年月がかかったものとのことです。また、米粉をパン生地を使用することで食感を向上させるとともに、表面に焦がしきな粉をまぶし焼いた商品で、パンや笹だんごでは全て小竹製菓で製造しているものとのことです。

私自身は今回のサロンで初めてこの小竹の笹だんごパンの事を知りました。学生時代に「小竹のサンドパン」を食べて育った身としては、非常に衝撃的な出会いでした。

東京サロンは、上越市出身の方々とお話ができるだけでなく、上越市の現状やこのような上越市の新たな名物などのことも知ることができる非常に素晴らしい会です。コロナウイルスによりリアルサロンの開催が中断となり、ようやくその開催ができるようになったところですが、皆様ぜひぜひご参加ください。

ちなみに今回のサロン後、東京でこの小竹の笹だんごパンを買えるところを探したところ、私どもの事務所のすぐ近くの日本橋室町にある「ブリッジにいがた」という新潟のアンテナショップで買えることを発見しました。もし日本橋にいらっしゃった際には、皆様こちらにもぜひ立ち寄ってみてください。

サロン開催のご紹介のつもりが、半分以上が小竹の笹だんごパンの紹介になってしまいましたが、また皆様にサロンでお会いできることを楽しみにしております！ (水上 卓 記)



コロナ禍でサロンが中止になる前より大人気の新山さんのお漬物3種。野田さんお手製のおちょこでいただく松本さんチョイスの日本酒に、勿論白いご飯に◎です。

【次回以降のサロン】(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ 10月12日(木)・11月9日(木) 17:30~19:00

東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL: 03-3832-7619
ご照会やご参加は、事務局(宮里) Mail: k.miyazato@araipt.co.jp TEL: 03-5244-5138までお願いします。

◆ 第48回勉強会報告 落語会 (9月28日午後1時から/お江戸日本橋亭)

今回は、鯉橋師匠(当会副会長 高原隆さん)が出演した落語会でした。当日は9月の終わりとは思えない暑さでしたが、当会関係者からは13名参加しました。鯉橋師匠の演題は「お神酒徳利」で、六代目圓生の語りを想い聞き惚れました。

終了後は神田の居酒屋で、小坂会長以下7名が参加して懇親会に。話題は、上杉謙信は知っていても上越市との関連を知らない人が多い、五智国分寺や親鸞の坐像等もあまり知られていない、から始まって、その後上越の観光や工業誘致などの話題に。上越への熱い思いが感じられる懇親会でした。(溝口 良二 記)



◆ 第49回勉強会 練馬区立 牧野記念庭園

2023年11月11日(土) 西武池袋線大泉学園駅(南口) 10時30分(時間厳守)

今回は、上記庭園です。朝ドラの主人公牧野富太郎博士が大正15年に野趣豊かな東京大泉に邸宅を構えて、終の住処としました。博士はこの庭を「我が植物園」として、こよなく大切にされました。庭園は入園無料で、四季折々の植物を観賞できますので、ご参加下さい。詳細は同封の<第49回Jネット勉強会>をご覧ください。

(ランチ懇親会も予定しています。希望者は、12時30分正門にお越し下さい。大泉学園レストランテ カルドを予定しております。予約が必要なため開催日の5日前(11月6日迄)にご連絡下さい。)

◆ 第50回勉強会 天中軒 景友 独演会 ―新しい浪曲の形を求めて―

2023年11月23日(木・祝) 開演18時30分(開場18時) 20時30分終演予定

会場：浅草木馬亭 木戸銭 予約2,000円/当日2,500円 ※詳しくは、同封のご案内をご覧ください。

音楽家に加え浪曲師になられた景友さんには、以前Jネットの20周年記念総会のアトラクションで長尾景友さんの名前でトークと演奏を楽しませていただきました。今回は浪曲師天中軒景友さんとしての独演会で、語り芸の新しい試み「ギター浪談」も演目に入っています。是非お楽しみ下さい。会員外の方も歓迎です。

景友さんは鎌倉を発祥の地とする長尾一族の末裔で、上杉謙信公の血族でいらっしゃいます。曾祖父の代まで新潟県村上市に居住されていました。

なお、予約券を申し込む方は下記のJネット事務局(宮里)へ11月10日(金)までご連絡下さい。当日券の場合は各自会場の窓口でご購入下さい。(当日は開場時間前に勉強会幹事が会場の入口近くに待機しています。)

Jネット事務局(宮里) Mail : k.miyazato@araipt.co.jp TEL : 03-5244-5138

同窓会・郷友会コーナー

◆ 東京牧村会第27回総会・懇親会開催のご案内

日時：令和5年10月22日(日) 11時30分～14時40分(受付開始 11時00分より)

会費：10,000円 受付開始 11時00分より

会場：上野精養軒 3階 桜の間 台東区上野公園4番8号 電話：03-3821-2181

*ご出席希望の方は10月13日(金)午後12時までにご連絡をお願いします。

連絡先：東京牧村会 会長 鈴木勉 携帯：080-3089-0673

◆ 直江津高校・中等教育学校同窓会関東支部 総会及び懇親会のご案内

日時：令和5年11月18日(土)午前11時～午後3時

場所：アルカディア市ヶ谷・私学会館(JR・地下鉄「市ヶ谷駅」徒歩2分。千代田区九段北4-2-25)

参加費：10,000円(但し平成31年以降卒業の方は5,000円、学生は2,000円、令和5年卒業の方は無料)

お申込み・お問合せは関東支部長 高原隆(瀧川鯉橋)まで

メール：rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp 携帯：090-4730-9032

とれたて上越

◆ 上越の行事・展示会・話題

第18回 越後謙信SAKEまつり2023 ―主催：越後・謙信SAKEまつり実行委員会

越後謙信SAKEまつりは、新潟県上越地域の日本酒をはじめ、ワイン、どぶろく、地ビールなど「SAKE」を一堂に集め、上越地域の酒づくり文化を紹介するイベントです。

会期：令和5年10月21日(土)、22日(日) 会場：高田本町商店街



◆ ご存じでしたか？

「直江津集合！2023」太平洋から日本海へ今年も開催されました！

十数年前から、夏の終わりに自転車乗りが、太平洋側・関東から日本海・直江津海岸に集合するイベントがあります。

参加条件はたったひとつ、8月末の土曜日18時に直江津海岸船見公園の人魚像の前に集合すること。全行程を自転車で走りきることに。ルートも時間も宿泊も自由だそうです。当日はあいにく曇りで、日本海の素晴らしい夕陽を見ることはできませんでしたが、夕陽の写真入りの歓迎パネルが出迎えたようです。



関東方面より直江津集合のロングライダーズ

(以前は世話役がいたようですが、今年はそれも無くなり、集合場所で落ち合うということだけがルールのようなのです。)

9月9日朝、日本縦断駅伝、直江津を出発。日本海の海水を太平洋へ。

信州大学中原寮の学生が海水を詰めたペットボトルをバトン代わりに、上越市から太平洋浜松市中田島砂丘までの400kmを38人で走り抜けました。

3年に一度の伝統行事でしたがコロナ禍で中断、6年ぶりに復活しました。9月14日無事に太平洋に到着しました。

おめでとうございます！



いにしえ上越

◆古径の名品を生誕の地高田で愛でる（古径紹介その2）

小林古径記念美術館 館長 宮崎 俊英

「生誕140年 小林古径の世界」10月21日から11月19日(会期中無休)開催！

日本画の巨匠小林古径の名を冠した美術館が生誕の地高田に開館して3年が経ちました。本展では「芥子」や「竹取物語」などの代表作をはじめ、全国の国公立、私立美術館、個人が所蔵する初期から晩年までの作品を展示し、古径の画業を回顧します。

古径は明治・大正・昭和へと移る激動の時代の中で、日本美術院をその活動の舞台として活躍しました。古径は写生を基とする中で、大和絵や琳派、日本の古画などを徹底的に研究し、近代的な感覚を取り入れて成熟させたいわゆる「新古典主義」と呼ばれる画境に到達して近代日本美術史における確かな足跡を残し、昭和25年(1950年)には新潟県人で初となる文化勲章を受章しました。

古径の画業は日本美術院展(院展)を作品発表の中心に置きながらも、さまざまな絵画団体等で作品を発表してきました。大作だけでなく小品に至るまで決して手を抜くことのない制作態度をもって臨み、美しい描線と色彩をまとった多くの作品を残しています。

また、作品のほかにも関係資料や古径邸、制作の場である画室についても紹介し、古径の芸術性と人となりを併せて知っていただく機会とします。

本作「芥子」(大正10年作 東京国立博物館所蔵)を高田で展示するのが私の長年の夢でした。展示期間が短い日本画である本作は東博でもなかなか見る機会が少なく、展示されるたびに上京したものでした。古径を支援した原三溪が「茎を折れば青くさい草の汁が匂うようだ」と評したほどの写実と香り立つような品格を備えた名作の前に再び立てると想像するだけで胸が高鳴ります。

庭園紅葉ライトアップ期間(11月11日～19日)は午後7時まで延長開館いたします。春の桜に負けず秋の高田もいいものです。お待ちしております。



Image:TNM Image Archives

Jネットからのお知らせ

※Jネットの会員証をご提示しますと小林古径記念美術館はじめ、上越市の施設を割引料金で御利用いただけます。
(Jネット会員本人と、同居のご家族に限ります) 割引施設一覧の再送をご希望の方は、Jネット東京事務局までご連絡ください。

◆岩殿山の魅力について（その2）

長谷川 英明

こんにちは、岩殿山明静院の住職の長谷川です。2回目の今回は、岩殿山の様々な見どころについてご紹介します。

岩殿山の魅力は、何といても明静院の本尊で国の重要文化財に指定されている大日如来坐像ですが、戦国時代の大武将である上杉謙信公も厚く帰依されていたようです。謙信公は生前に、死後、自分の御骨を林泉寺と高野山そして岩殿山に分骨するように命じられました。岩殿山に謙信公のお墓が建てられましたが、その後長い年月を経て所在が分からなくなっていました。ところが平成3年に本堂を建てかえたところ、江戸時代末期に建てられた旧本堂の床下から梵字の刻まれた五輪の塔の一部が見つかりました。おそらくこれが謙信公の墓の墓石であろうと推測し、それを復元して謙信公の墓として供養しております。また、当山中には、謙信公時代の出城で敵水軍の見張りをした沖見城(舟見城)跡があります。

次に、境内には弘法大師空海にまつわる「弘法の硯岩こうぼう すずりいわ」があります。その昔、国府に新しく船が建造され「わくら丸」と名付けられましたが、船体に船名を書く人と大きな硯が見つかりませんでした。やがて船名を書く人は旅の僧侶にお願いし、旅の僧侶は硯に適する大きな石を求めて奔走しました。そんな中、うわさで岩殿山に良い石があると聞いた僧侶は急ぎ岩殿山に行き大きな岩を発見しました。僧侶は「これこそ求めていたものだ」とその大きな岩を打ち欠いて硯にしました。やがて船体に船名が書かれ、人々は今までに見たこともないような立派な文字に感動しました。僧侶はすぐに旅立たれましたが、のちに人々はその僧侶が高名な空海と知り再び感動したそうです。

次に、たびたびお話しているこの岩殿山にある「岩」ですが、「君が代」にも出てくる「さざれ石」であることが近年判明しました。3年前に、謙信公の大ファンである大阪の石材店の社長さんが謙信公の墓所を示す石柱を当寺院に御寄進されましたが、その方が「さざれ石」だと言われましたので間違いはありません。これほど大きな「さざれ石」は全国的にも稀なものだと思います。

2回にわたって岩殿山の魅力についてご紹介させていただきました。山中のいわゆる「ぼつんと一軒家」の所ではありますが、鳥が鳴き、夏には蝉しぐれがひびきわたる静かな所です。当地へは上越市の市道である参道を車で来ることができますが、車のすれ違いができない道路で、しかも砂利道で危険な所もあり、車で来るとをためらう方がたくさんいらっしゃいます。そのため現在、参道を整備してもらうように上越市に働きかける活動を行っています。是非、皆様からもご協力をいただけたらありがたく思っております。

また、11月3日(金・祝)～5日(日)には本尊大日如来坐像の特別御開帳を実施します。是非一度、当地へご参拝いただけたら幸甚に存じます。

Jネットからのお知らせ

※Jネットでは岩殿山参道整備の署名活動に協力しています。9月のサロンでも賛同者に署名いただきました。今後のサロンでも準備します。



謙信公墓



弘法の硯岩



巨大なさざれ石

会員ひろば

◆不思議板倉郷

西口 義久(横浜市在住)

6月にJネットに入会しましたが、7月25日号に同封されていた冊子「不思議板倉郷」は、母の実家が新井の北条のすぐ先なので興味津々、感想はたいへん面白かったです。以下幾つか記載します。

- ① 新井柿崎線が明治時代に荷車の流通に重要な役目を果たしたこと、板倉は山越えして信州に繋る拠点だったことを知りました。
- ② 恵信尼が板倉の三善家に産まれて京都で教養を積み、法然仏門に入った後に板倉に戻り、流されてきた親鸞の通い婚の伴侶となり、6人の子をもうけたこと、全く知りませんでした。
- ③ 奈良時代から板倉は小さなお寺が散在していて、猿供養寺はその名残ということも知りました。郷土史を研究して下さる方がいらっしゃるのには有難いことです。報告まで。



◆古民家食事処「櫛苑」(南魚沼市)

小坂 庸雄(高田出身)

先日南魚沼方面を訪れる機会がありましたので、当地にある食事処「櫛苑」を紹介します。私がボランティア活動に参加している心に病をかかえた方々のための支援施設の研修旅行が9月21・22日に4年ぶりで再開。十日町(松之山温泉に宿泊)と南魚沼周辺への旅行に同行し、「櫛苑」で昼食をいただきました。この支援施設と研修旅行については最後に少し紹介します。

「櫛苑」は八海山の麓近くにある古民家を利用した郷土料理の食事処です。建物はからぶき屋根の築150年(写真左)、その裏手には樹齢1,500年とも言われている大きな櫛(写真右、地元では大家の大櫛と呼ばれているとのこと)があります。料理は地元の旬の食材を使った郷土料理で素材の味を大切にした上品な味付けが特長です。

当日は全員で懐石料理を。抹茶から始まり、じゅんさいのお吸い物などの前菜、懐かしい「のっぺい汁」、ずいき(芋茎)の味噌合え、自然薯の海苔巻き、野菜たっぷりのがんも煮等々(写真中)、焼き物はイワナ(頭からまるごといただく)、食事は栗ごはん。皆大満足でした。当食事処の住所、連絡先は下記のとおりです。完全予約制で、宿泊(ただし温泉は付いていません)も可能です。なお店主は母上が糸魚川出身で小さい頃は糸魚川へよく出かけられたそうです。

「櫛苑」 店主 南雲 直子さん

〒949-7112 新潟県南魚沼市長森24番地
TEL 025-775-2419 FAX 025-775-2568



上述の支援施設と研修旅行について、少し説明します。

施設の名前は工房「風」、場所は新宿区、心に病をかかえた方々のための生活支援・就労支援の施設(注)で理事長(栗原 毅さん)、運営責任者(吉田幹子さん)は上越市出身者です。理事及び賛同会員にも上越市あるいは上越地方出身者が多く関わっていて、その中で栗原さん、吉田さんはじめ多くの方がJネット会員になっています。施設では生活・就労の支援に加え、スポーツ・演奏会・文化活動などのプログラムもあります。

今回の研修旅行はこの活動の一環として久しぶりに実施されました。

(注) NPO法人 工房「風」 〒161-0032 東京都新宿区中落合4-23-25 TEL 03-3952-6014



上の写真は松之山温泉近くのブナ林「美人林」での笑顔の面々、右の写真は櫛苑の店主(左から2人目)を囲んでの同行者たち、一番右が上述の吉田さんです。

◇10/11(水)～15(日) 池袋演芸場・夜の部

時間：午後4時45分～8時半 ※鯉橋は7時ごろ出演
木戸銭：2,800円(65才以上2,300円など各種割引有)
主任：夢丸 ほかに小文治、山上兄弟など出演
お問合わせ：03-3971-4545 (池袋演芸場)

◇10/15(日) 梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」

時間：午後1時～3時ごろ 木戸銭：2,500円
出演：鯉橋、小助六、夢丸
会場：梶原いろは亭(北区上中里3-1-4)
お問合せ：03-6322-1622

◇10/24(火)「日大文理学部とお江戸日本橋亭 ザ・ファイナル」

時間：午後6時～8時半
木戸銭：2,000円(前売・予約1,500円)
出演：里光、桃之助、笑遊-お仲入り-鯉橋、カントリーズ、
桃之助(以上出演順)
会場：お江戸日本橋亭(三越前)



◇10/29(日) 高円寺フェス竹芳亭落語会

時間：午後2時～4時
木戸銭：2,500円(前売・予約2,000円)
出演：芝楽、鯉橋、鷹治、喜太郎
会場：高円寺駅前劇場「竹芳亭」
(高円寺南4-25-9地下1階 JR高円寺南口より徒歩2分)
お問合わせ：070-8483-3447 (竹芳亭)

◇11/20(月) グリーンホール八起寄席

時間：午後6時半～8時45分ごろ
木戸銭：2,000円(前売1,700円)
65才以上1500円など各種割引有り※要お問合わせ
会場：相模女子大学グリーンホール(相模大野)
お問合わせ：042-749-2200 (相模女子大学グリーンホール)

◇11/30(木)「七人の侍～流浪の落語勉強会～」

時間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1,500円
出演：鯉朝、枝太郎、榮生、鯉橋、鳳志
会場：お江戸日本橋亭(三越前)

☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』 <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。
会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

● 上越特産市場 JCCソフト運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から徒歩約3分)

場所 有楽町交通会館1階 営業時間11:00～19:00 年中無休(年末年始は休業)
「雪国商店」でもネット検索してご覧ください。お問合せ先：JCV東京情報センター TEL：03-5218-7730

● 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」

上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。
日時 10月21日(土)・10月22日(日)・10月28日(土)・10月29日(日)
会場 有楽町 交通会館1階 開業時間11:30～17:30

● ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

(Jネットたよりを全ページカラーでご覧いただけます。)

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて増え続けています。内容も、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のQRコードからご覧ください。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン(JCV)の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。



◎ 上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法 (会員のみ)

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



ふるさと 秋

いちじくを挽ぐ掌の力抜き

暮早き峡のかなかな鳴き急ぐ

残照に赫つと色ます唐辛子

砂山の波紋影濃き十三夜

築跳ぬる落鮎赤き腹見せて

上野 邦治

キャンプ場の寝付けぬテント星流る

粧へる八海山過ぎ日本海

秋の暮手押し車はゆつくりと

コシヒカリの新米届く雨の夜

到来のおけさ柿種なかりけり

宇賀田 洋巳

村祭り小若半纏孫を待ち

妙高の霊力超えて鱈雲

雨月でもタツ踏み燥ぐ黄長靴

干し柿にマイセン充てる天邪鬼

鬼あざみ木霊の主か山気澄む

乏 硯

上越市からのお知らせ

◇上越市に「ふるさと納税」しませんか？◇

令和4年8月から寄附に対するお礼の品を拡充しました。温かいご寄附をありがとうございます。引き続きふるさと上越への応援をお願いいたします。下記のポータルサイトに、上越市のお礼の品を掲載しています！（8サイト）



※左のQRコードから、各ポータルサイトの情報をご覧ください。



▲お米の食べ比べセットも人気です！



地域から日本を元気に！
楽天ふるさと納税



さとふる

au PAY ふるさと納税



SEASONのふるさと納税



ANAのふるさと納税
マイルが貯まる



▲定期便で少しずつの受取も可です

紙カタログのご用意もありますので、ご希望の方は上越市にご連絡ください。

照会先：総合政策課企画調整係（TEL：025-520-5625）

◇「上越市地産地消推進キャンペーン」◇

令和5年10月15日（日）から11月30日（木）まで
期間中、対象商品を注文・購入し、スタンプを集めて応募すると、
抽選で参加店舗共通商品券などの景品が当たります。
ぜひおいしい上越の食を味わってください。



※詳細は左のQRコードから、
ご覧ください。

照会先：農林水産部 農政課
農業総務係（TEL：025-520-5747）

●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●

皆様よりの寄稿、投句、それらの感想をお待ちしています。

Mail 送信先 事務局：k.miyazato@araipt.co.jp

◎次号「たより」は令和5年11月25日の発行です。